

# 自己評価及び外部評価結果

別添2

令和4 年度2023年2月13日

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2295100 271	事業の開始年月 日	
		指定年月日	
法人名	株式会社スマイル		
事業所名	スマイル住まいる小川		
所在地	(〒425 - 0033) 焼津市小川3031番地		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計 18 名 ユニット数 2 ユニット	
自己評価作成日	1 / 3 1	評価結果 市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="#">事業所の概要   スマイル住まいる小川   静岡県   介護事業所・生活関連情報検索「介護サービス情報公表システム」(mhlw.go.jp)</a>
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自立支援ケアを進めていくとともに、ご本人様の思いを尊重して無理なく楽しくお過ごしいただけるよう努めています。
--

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	焼津市役所健康福祉部地域包括ケア推進課 小澤様 民生委員：寺田初子様、大橋順子様		
所在地	焼津市本町2 - 16 - 32 市役所本庁舎3階		
訪問調査日	2023/02/13	評価機関 評価決定日	

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 1 0
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	1 1
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	1 2 ~ 1 6
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	1 7 ~ 2 3
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スマイル住まいる小川 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている	職員全員が定期的な研修を受講し身体拘束は行っていない。また3ヶ月ごとに身体拘束廃止委員会を開催して、日頃のケアの見直しを行なっている。	A. 充分にできている	<b>生活の場として、病院との違いを感じた。委員会でも率直な検討がされていた。</b>	<a href="#">身体拘束適正化に関する指針</a> <a href="#">身体拘束適正化委員会議事録</a>
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	職員全員が定期的な研修を受講し、精神的・身体的・経済的虐待について理解を深めるとともにお互いに注意を払う環境ができている。	A. 充分にできている	<b>入居時は通帳を施設に預けなければいけないという施設を聞いた事が有るが、ここは明確な返答が得られてよかった。</b>	<a href="#">虐待防止、身体拘束研修</a> <a href="#">研修レポート</a>
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	定期的にご面会できないご家族様とは、LINEや電話を通じて報告・相談に努めている。	A. 充分にできている	<b>それぞれのご家族の関係性や難しさを感じた。</b>	
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	定期的に面談を実施し、年度初めに目標設定を行う。中間で達成状況の確認を行うほか、働き方や勤務変更の希望に柔軟に応えるよう努めている。	A. 充分にできている	<b>かなり細かい評価内容だった。</b>	<a href="#">人事評価制度</a> <a href="#">処遇改善に関する内容</a>
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	資格取得や研修に参加できるようバックアップしている。	A. 充分にできている	<b>新卒採用もできているとことで、教育体制がしっかりしていると感じた。</b>	<a href="#">社内プチ研修</a> <a href="#">OJTチェックシート</a>
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	定期的にあセスメントを実施し、症状の変化や新しいご要望が聞かれた際も細かくご家族に報告している。状況に対応して、区分変更や必要な物品についてご相談させていただいている。	A. 充分にできている		<a href="#">モニタリング記録</a> <a href="#">介護計画書①</a>
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている	ICTを活用して個別記録を作成し、今後のケアに反映させている。	A. 充分にできている		<a href="#">カンファレンス</a>

スマイル住まいる小川 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	B. ほぼできている	コロナ禍で面会は叶わないが、入院中も病院との連携を図り、退院時のリハビリ計画をケアプランに反映している。	A. 充分にできている	<b>3人が骨折で入院したが、全員が帰所し元気に過ごしているのを見て驚いた。</b>	<a href="#">入退院時記録</a>
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	入居時に看取りに対するご要望を伺い、その後も経過とともにお話をさせていただき時間を設けている。訪問診療・訪問看護と連携し取り組んでいる。	A. 充分にできている	<b>防水シートを外すことや、実際のエピソードなど細かいことが研修で触れられていた。家族では気づかない視点だと思った。</b>	看取り介護計画書 <a href="#">看取りケアに関する研修</a>
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	定期的に避難訓練を実施している。	A. 充分にできている	<b>コロナ禍で難しさはあるが、今後は近隣住民との連携を図れると良い。</b>	<a href="#">消防計画・訓練結果</a>
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	全社で接遇を統一して丁寧な言葉かけを心がけている。	A. 充分にできている		<a href="#">個人情報とプライバシー保護 研修</a>
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている	お客様とご一緒に下拵えや片づけを行っている。状態に応じた食形態を提供できるよう、職員間で常に情報共有を行っている。	A. 充分にできている		
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	歯科医の訪問指導を受けながら、介助を要する方には職員が支援させていただいている。	A. 充分にできている		<a href="#">口腔衛生に関する助言</a> <a href="#">口腔衛生計画書</a>
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	勤務に当たる際に前回からの排泄間隔を確認し、定期的な確認やトイレ誘導を実施している。下剤のほか食物繊維やヤクルトの使用を提案させていただき、確実な摂取と排泄の確認に努めている。	A. 充分にできている	<b>すぐに下剤を使わないという試みは良い。</b>	

スマイル住まいる小川 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	職員間で薬剤変更時の情報を共有し、服薬前後や経過の状況を医師に報告している。	A. 充分にできている		
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	動線上に物品を配置しないよう注意している。季節の飾りや催しをご一緒させていただき、普段もフロアの状況を観察し記録するとともに、個別に対応できるよう配慮している。	A. 充分にできている	<b>ちぎり絵が力作だった。毎月テーマがあつて継続されていた。</b>	<a href="#">共用部写真①</a> <a href="#">共用部写真②</a>
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている	毎朝バイタル測定を行い、2週間ごとの訪問診療・訪問看護および歯科医師による体調確認を実施している。急変時も速やかに連携できるよう連絡体制を構築している。	A. 充分にできている		
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている	ご家族の協力を得て、食器や寝具など使い慣れた物を持ち込んでいただいている。	A. 充分にできている		<a href="#">お客様居室写真①</a> <a href="#">お客様居室写真②</a>
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B. ほぼできている	性格や生活歴を考慮して、席順の配置をしている。家事参加を促すと共に、レクリエーションや野外での活動を実施している。	A. 充分にできている	<b>散歩することに積極的に取り組んでいるのはよい。</b>	
20	総合	本人は、このGHIにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B. ほぼできている	窓から見えるため、犬の散歩をしている地域住民と会話したり、近隣の店舗のイベントに外出している。	A. 充分にできている	<b>よく犬の散歩をしている方と話しているのを見かける。自然と挨拶できる関係を築けていると感じる。</b>	